

中間評価（ステージゲート審査）結果

1. 研究課題名： 野外トランスクリプトームの化学的制御手法の確立
2. 研究代表者： 永野 惇（龍谷大学 農学部 教授）
3. 中間評価（ステージゲート審査）コメント

ケミカルライブラリの膨大な数の化合物と転写因子等変異体を用いてトランスクリプトームへの影響を大規模にスクリーニングし、野外環境下におけるトランスクリプトームの制御を目指す挑戦的な課題である。

フェーズ 1 では、800 化合物のデータを取得し、それらのデータベースビューワーの構築も進めるなど、情報の利用面での配慮もなされており評価できる。フェーズ 2 は、8000 化合物までデータを増やして、野外環境下におけるトランスクリプトームの制御の実証を行う挑戦的な計画となっており期待できる。

以上